



第4回「チャンピオン・オブ・チェンジ日本大賞」 表彰式

日時

12月7日(月)19:30~21:00 (オンライン配信)

5名の受賞者ご紹介(活動紹介、スピーチ)
大賞受賞者の発表
パネルディスカッション

申込

<https://forms.gle/BfaZJXWPajCM78V96>

詳細はこちら ▶ jwliccja.org

FISH FAMILY FOUNDATION



TIFFANY & Co.



- 主催:フィッシュ・ファミリー財団 / 公益財団法人パブリックリソース財団
- 協賛:Tiffany & Co. / Dow Japan ■会場:CIC Tokyo
- 協力:Japanese Women's Leadership Initiative (JWLI)

岡田 沙織

NPO法人若者メンタルサポート協会 理事長

生きづらさを抱え、居場所のない若者たちに24時間寄り添い続ける

家庭不和から孤独な幼少期を送り、10代の頃は自分の居場所を求めてさまよいながら、万引きやドラッグ、リストカットなども経験したという岡田さん。「あの時寄り添ってくれる大人がいたら」との思いから、2012年に10代の若者を対象に24時間の無料SNS相談を始めました。体験に裏打ちされた対応は若者の信頼を呼び、2015年に若者メンタルサポート協会を設立。活動に共感したボランティアとともに月2万通を超える相談に応じています。



染矢 明日香

NPO法人ピルコン 理事長

人生の選択肢を広げ、豊かな人生を送れるように、性について正しい知識を伝えたい

日本の10代の中絶件数は年間約1.4万件。コロナ禍で中高生の妊娠不安に関する相談も急増しています。避妊啓発の学生団体としてスタートしたピルコンは、出張授業や講演、教材開発などを通じて子どもや若者に正しい性知識を得る機会を、大人に性の伝え方を学ぶ機会を提供しています。さらに、緊急避妊薬のアクセス改善など、セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス&ライツ（性と生殖に関する健康と権利）に関する課題に取り組んでいます。

寺原 真希子

一般社団法人MarriageForAllJapan -結婚の自由をすべての人に 代表理事/
「結婚の自由をすべての人に」訴訟東京弁護士団 訴訟東京弁護士団・弁護団長

性のあり方に関わらず、誰もが結婚するかしないかを自由に選択できる社会へ

「自分らしく生きたいのに生きられない」人たちの力になりたいと弁護士を志した寺原さんは、女性やセクシュアル・マイノリティの人権擁護に尽力してきました。2019年に札幌、東京、大阪、名古屋、福岡で提訴された「結婚の自由をすべての人に」訴訟の東京弁護士団共同代表も務めています。同性婚の法制化を、自分らしく生きられる社会を実現するための「自分事」としてより多くの人に感じてもらえるよう、情報発信や啓発活動を続けています。



西 クレオニセ

エスコラネクター 校長

25年にわたって日本で暮らすブラジル人児童の教育を担う

愛知県豊田市には現在6,500人を超えるブラジル人が住み、多くが自動車関連の工場などで働いています。1990年代前半に来日した西さんが、子どもたちがポルトガル語を忘れないようにと開いた小さな教室は、ブラジル政府の認可を受けた日本で最初の全日制のブラジル人学校となり、これまで2,000人以上の子どもたちが巣立っていきました。非正規労働者である保護者たちをコロナ禍が直撃する中、食料支援や学費免除で子どもの学びを守っています。

渡部 カンコロンゴ 清花

NPO法人WELgee 代表

日本にやって来た難民の若者たちとともに、誰もが活躍できる未来を作る

バングラデシュでのNGO駐在員、国連開発計画インターンなどを経て、2016年に難民の仲間たちとWELgeeを設立。2019年の難民認定はわずか44人という日本で、難民を“ともに社会を変革していく対等なパートナー”として捉え、伴走型の就労支援などを行っています。また、様々な逆境を乗り越えてきた可能性溢れるパイオニア人材（難民）と日本社会や日本の企業が出会い・対話する機会として、企業研修や教育機関でのワークショップ、一般向けサロンも開催しています。

